厚木市総合計画
あつぎ女性100人プロジェクト
（11月23日開催）

実施結果報告書

1.開催概要

項目	概要
目的	第11次厚木市総合計画の策定に向け、様々な分野に女性の視点を取り入れることで、誰にとっても暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、ジェンダーの平等及び男女共同参画社会を実現するため、女性を対象とした「未来のあつぎ」を自由に語り合うワークショップを開催し、女性が考えるまちの将来像の把握を行う。
開催日	令和6年11月23日（土）
開催時間	14時から16時20分まで
開催場所	アミューあつぎ7階　ミュージックルーム2
参加者	厚木市内在住の中学生以上の女性　34人
内容	「あなたにとって幸せとは？～ウェルビーイング（※）～」、「厚木市をウェルビーイングなまちにするために必要なこと」について議論し、発表しました。

※ ウェルビーイング（well-being)とは、「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること（=幸せ）」をいいます。

2.実施方法

- あつぎ女性100人プロジェクトは、ワークショップ形式で開催しました。参加者の主体性を重視し、将来を見据えたまちづくりの方向性について、市民協働による検討を行うため、ワークショップ形式を採用しました。
- 一人ひとりがウェルビーイングを実感できる社会の実現を目指すことが、まちづくりにおいて重要になっていることから、御自分とまち全体のウェルビーイングをテーマとして話し合いを行いました。

4～6人のグループに分かれて自己紹介

・10歳代から70歳代までの幅広い年代の市民が参加しました。

テーマ①
「あなたにとって幸せとは？
～ウェルビーイング～」

・ウェルビーイング（幸せ）を感じることについて付箋に書き出した後、グループで共有しました。

テーマ②
「厚木市をウェルビーイングなまちにするために必要なこと」

・厚木市をウェルビーイングなまちにするために必要なことについて、付箋に書いて出し合い、似た意見のグループ化や重要度について話し合いました。

グループごとに発表

・テーマ②で話し合った内容について、重要な取組とその内容・理由について発表しました。

3.市民意見

3－1.あなたにとって幸せとは？～ウェルビーイング～

全部で、303件の意見が出ました。
全ての意見は別紙を参照してください。

班	主な意見
1	寝る、おいしいものを食べる、助けてもらった時、パパがごはんをつくってくれるとき、おしゃべり、ありがとうと言われる時、家族で楽しくすごしているとき、動物と触れ合うこと、きれいな景色をみたとき、お気に入りの服をみつけた時
2	選んだ本を読み終えた時、友達と話している時、自分の意見をちゃんと話す、好きなことを一人でしている時、子どもが笑顔で遊んでいる時、家族と一緒にいる時、大山をながめたとき、自然が豊かな事、会社の繁栄
3	自分の頑張りを認めてもらえる、自分の居場所を感じる、いいお天気の日に出かける、ゆっくりおふろにつかる、布団に入る時、となりの方と朝ゴミ出しであいさつしたとき、適度に仕事をして適度に遊んで休息もある状態、1日何事もなく終わったとき
4	健康でいられる事、たまには旅行に行ける事、ライブや祭り・仕事で一体感が生まれたとき、美しい景色に会えたとき、部屋の掃除でピカピカに片付いたとき、出来なかったことができるようになったとき、仲良しの友達家族とホームパーティーをしているとき、大特価品に会えたとき
5	歌が上達した時、良い映画・本に出会えた時、目標に向けて頑張っている時、子どもの笑顔、お弁当箱が空っぽ、自分時間がある、相手の言いたいことを理解できたとき、仕事が楽しい、満腹、作ったごはんを”おいしい”と言ってくれた時
6	ボランティアに協力してくれる人がいるとき、家事を無理してやらない、お金の自己決定権を持っている、映画やドラマに感動する、美しいものをみたとき、家でゆっくりすごす、温泉でリラックス、仕事で感謝された時、季節を感じたとき
7	推しが楽しそうなとき、合唱・体育祭など子どもの一生懸命な姿を見れる、子どもが”ママありがとう”と言ってくれたとき、安全な生活ができる、気持ちのいいあいさつがかわせる、キレイな花がある、読書をして自分の知識が増えたとき

3.市民意見

全部で、233件の意見が出ました。
全ての意見は別紙を参照してください。

3－2.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと

班	主な意見
1	気楽に体を動かせる場所、悩みをすぐ伝えられる、交流の場（誰でもいつでも集まれるような空間）、いろんなものをシェアできる場所、家族で楽しめる場所、見守り合える、自習できるところ、アートや芸術が手軽にできる場
2	催し物をして厚木市を知ってもらう、外国人との交流、託児所を増やしてほしい、各企業との連携、大型ショッピングモール、歩いていて楽しいまち（歩道沿いにカフェや雑貨屋さんなど）、子どもとちょっと遊びに行けるところが欲しい
3	男性も一緒に考える、日ごろから助け合える関係づくりのために地域での活動を設ける、子どもの緊急時タクシー補助、やさしい日本語の使用、困ったときに頼れる人や場を見つけておく、高齢者に子育て支援を担ってもらう
4	おいしいものが安く食べられる、バスの本数をコロナ前に戻してほしい、通学路に街灯が少ないので増やしてほしい、いくつになっても友達を作れる場、職場の充実、イベントやお祭りを増やしてほしい、すべての市民がお金に困らない
5	夜間営業の見直し、自治会組織の在り方、依知南地区にスーパーを、子どもが安心して（母親、父親、おじいちゃん、おばあちゃん）遊ぶことのできる場所、施設の充実、買い物代行サービス、イベントを中心地以外で行う
6	地場の食をもっと盛り上げる（安心安全で美味しいものが食べられるように）、バスの本数増やす、選管で名前を読み上げるのやめてほしい（個人情報＋ジェンダー）、避難所で性被害に合わないような防止策、ワークライフバランスの充実
7	児童館施設の新たな活用、子育てのまちならアミューの改革（子育て特化したタワー）、男性・男子学生への教育、他者貢献感を持てる関係性・まちづくり（ファミサポ、家事サポ、シルバー人材）、HELPの発信のしやすさ

3.市民意見

３－２.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（１班）】

1	厚木に住んでいていいなー！って 言われるようなまちの実現に向けて

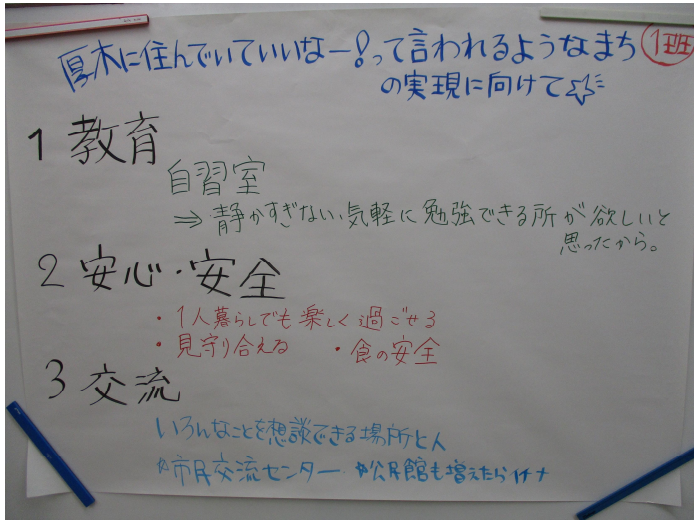
【必要なこと・その理由】

1. 教育
　現在アミューなどにある自習室が不足しているため、教育環境の充実に向けて、自習室など気軽に勉強できるスペースを増やす。

2. 安心・安全
　病院にかかるほどでもない健康に関する相談や、子育てに関する相談など、身近なことを何でも相談でき、専門家につないでくれる場所や相談にのってくれる人とのつながりを作る。

3. 交流
　一人暮らしでも、互いに見守り合えることで安心して暮らせることにつながるため、交流ができる場所を作るとともに、高齢者などが子育て世代をサポートする制度を作る。

【班ごとに作成した模造紙】



3.市民意見

3－2.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（2班）】

2	活気のあるまちの実現に向けて

【必要なこと・その理由】

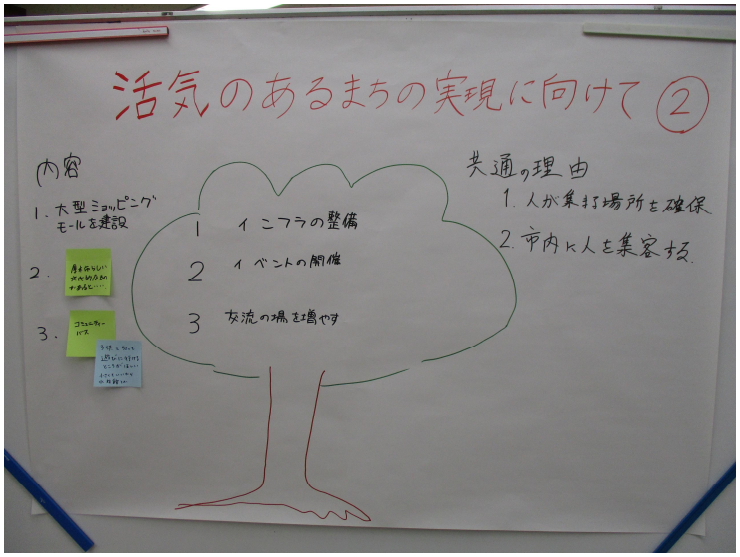
人が集まれる場所を確保し、厚木市に人を集客するため、次のことを行う。

1. インフラの整備
　厚木市に大型のショッピングモールがないことで、平塚市や海老名市に人が流れ、車の利用が増えることはSDGsにつながらないため、厚木市にショッピングモールを建設する。

2. イベントの開催
　鮎まつりや大道芸に加え、厚木市らしい文化的なイベントを開催する。

3. 交流の場を増やす
　コミュニティバスを増やしたり、水族館、温室の公園など子どもと遊びに行ける場所を作る。

【班ごとに作成した模造紙】



3.市民意見

３－２.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（3班）】

3　誰もが暮らしやすいまちの実現に向けて

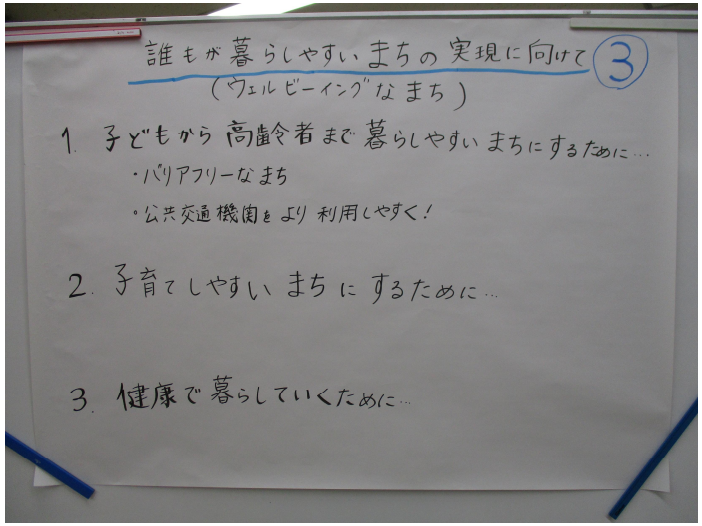
【必要なこと・その理由】

1. 子どもから高齢者まで暮らしやすいまちにするために、段差の解消等のバリアフリー化や公共交通機関をより利用しやすくするなど、どんな人でも市内を移動しやすくする。

2. 子育てしやすいまちにするために、年度の途中でも保育園に入りやすくする（0歳児クラスしか空きがない状況がある）。また、保育士を増やすため、保育士の資格がなくても経験のある方を拡充する。

3. 誰もが健康で暮らしていくために、子ども・高齢者のワクチンや医療の負担をなくすとともに、厚木市の新しい取組として、かかりつけ医やファミリードクター（家族の健康状態を知ってくれている）をもてる取組を行う。

【班ごとに作成した模造紙】



3.市民意見

3－2.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（4班）】

4　ずっと住み続けたいまちの実現に向けて

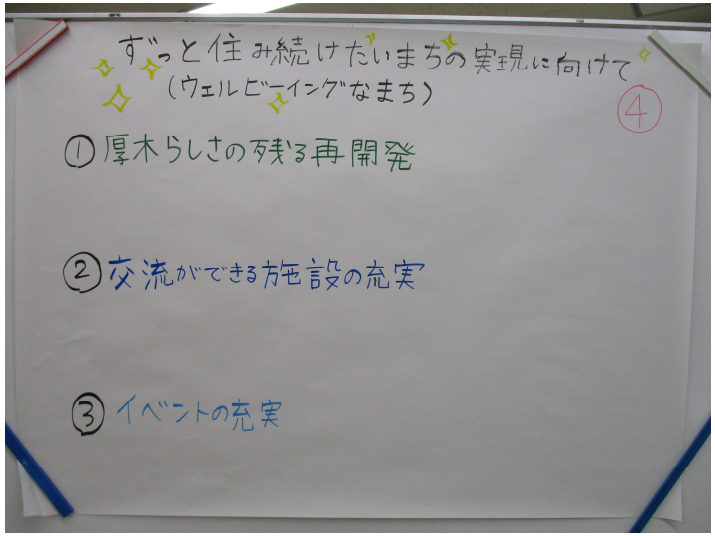
【必要なこと・その理由】

1. 厚木らしさの残る再開発
　住み続けたいまちランキングの上位にランクインするまちは、まちのブランドがしっかりしていて、そのまちへの愛着があるので、再開発で駅前をきれいにしつつ、厚木らしさ（個人の飲食店、お祭りなど）を残す。

2. 交流ができる施設の充実
　・公園に禁止事項のないエリアを作る。
　・いつ来ても気軽な意見交換ができ、友達が作れるなど様々な人が交流できる場所を充実させる。

3. イベントの充実
　・あまり知られていないイベントをPRする。
　・中央公園でのマルシェや、文化会館・プラネタリウムを活用したイベントを充実させる。

【班ごとに作成した模造紙】



3.市民意見

3－2.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（5班）】

5	魅力のあるまちの実現に向けて

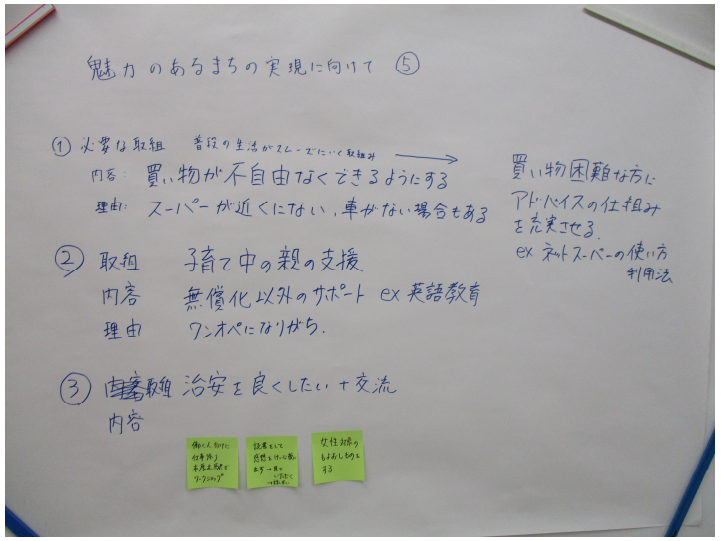
【必要なこと・その理由】

1. 買い物が困難な方にアドバイスの仕組みを充実させる
　車がない家庭や、スーパーが近くにない地域でも買い物が不自由なくできるよう、ネットスーパー利用のサポートを行う。

2. 子育て中の親の支援
・ワンオペの家庭が増えており、ファミリーサポートや祖父母の協力も限界があるので、子育て支援（施設）を充実させる。
・厚木市は児童館が充実しているが、禁止事項が多いので時代に合わせて変えていく。

3. 治安を良くし、交流を増やす
　治安を良くした上で、働く人向けにワークショップを開いたり、家にいながらでもオンラインで交流や意見交換ができるシステムを作る。

【班ごとに作成した模造紙】



3.市民意見

3－2.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（6班）】

6	自己実現・ワークライフバランスな まちづくりの実現に向けて

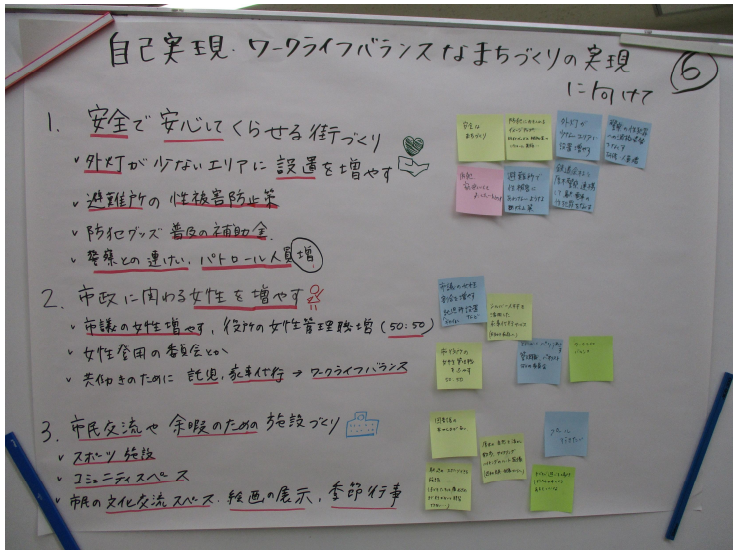
【必要なこと・その理由】

1. 安全で安心して暮らせる街づくり
　事件が増えているため、外灯を増やしたり防犯グッズに補助金を出したりすることで、安全なまちをアピールする。避難所の性被害防止策や警察との連携、パトロールも重要である。

2. 市政に関わる女性を増やす
　あらゆる人にとって暮らしやすいまちづくりを行うため、市議会議員や市役所の意思決定権をもつ管理職に女性を増やす。（他市町村を参考に50:50を目指す。）

3. 市民交流や余暇のための施設づくり
　自己実現のため、交流ができ余暇を楽しむことができるスペースを作る。

【班ごとに作成した模造紙】



3.市民意見

3－2.厚木市を「ウェルビーイングなまち」にするために必要なこと【発表いただいた意見（7班）】

7	大家族なまちの実現に向けて

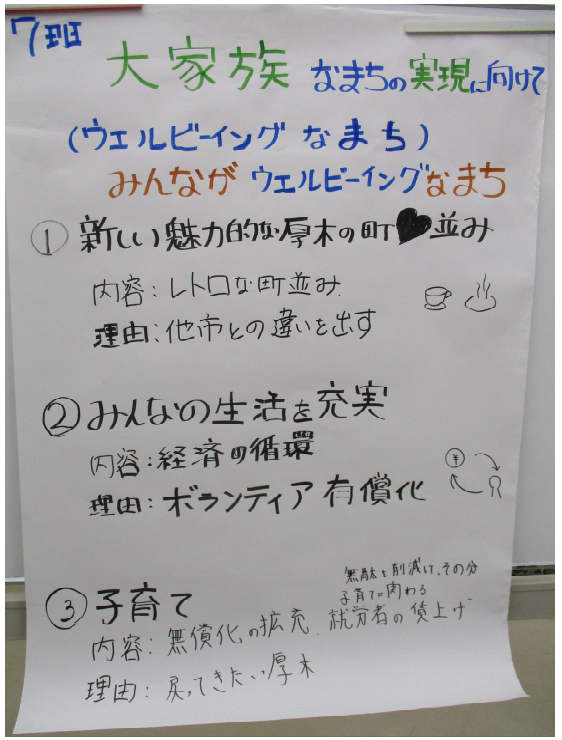
【必要なこと・その理由】

1. 新しい魅力的な厚木の町並み
　他市との違いを出すため、チェーン店ではなく、厚木にしかない古い喫茶店、温泉、買い物ができる場所（道の駅）などレトロな街並みを整備する。

2. みんなの生活を充実
　ファミリーサポートなどのボランティアに頼ることが多いので、有償化やボランティアに従事する方の賃上げ、雇用拡充を行うことで経済を循環させる。

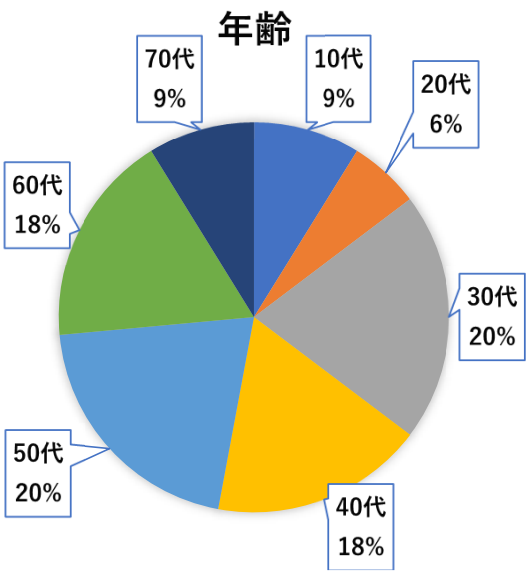
3. 子育て
　厚木市は子育て環境が充実していると言われているが、無駄を削減して保育士やボランティア等の処遇改善を行うなど、もっと抜本的な子育て施策を行う。

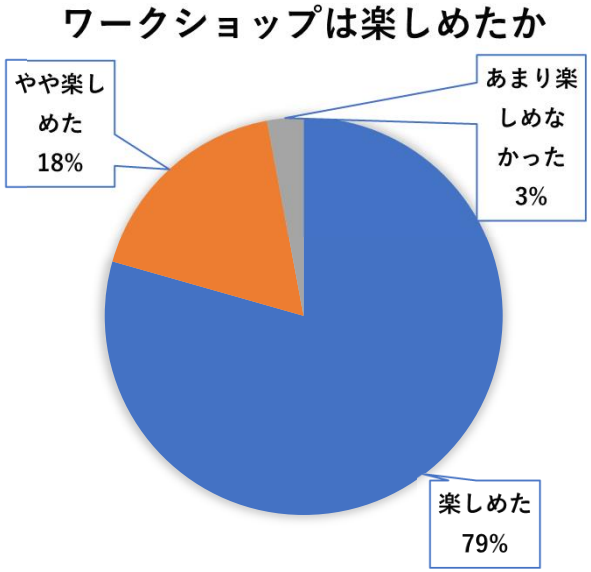
【班ごとに作成した模造紙】

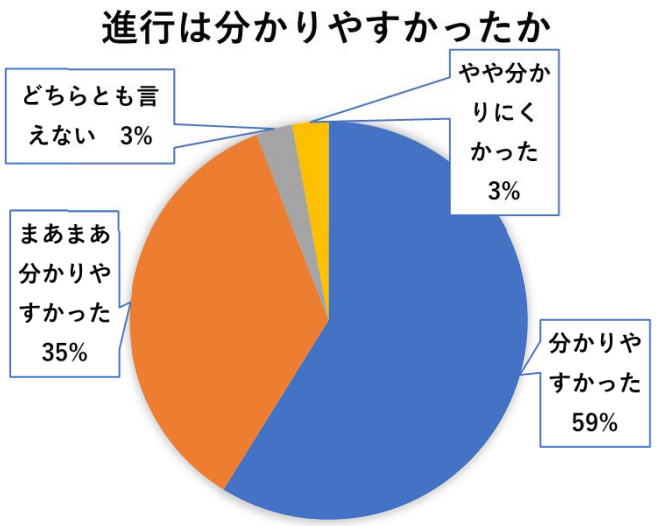


4.参加者アンケート実施結果①

■　34名の方に回答いただきました。
■　ワークショップについて、９割以上の方が「楽しめた」または「やや楽しめた」と回答しています。
■　進行について、９割以上の方が「分かりやすかった」または「まあまあ分かりやすかった」と回答しています。

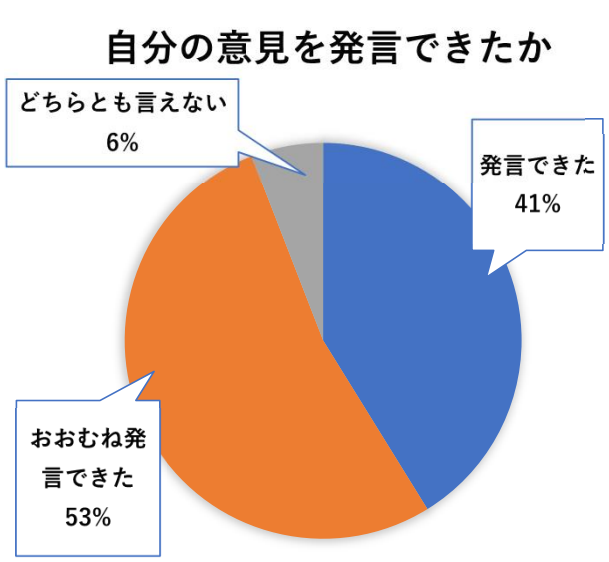


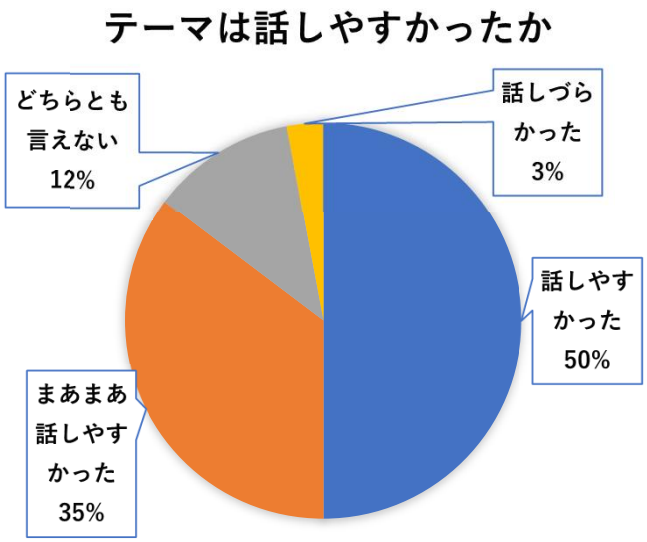


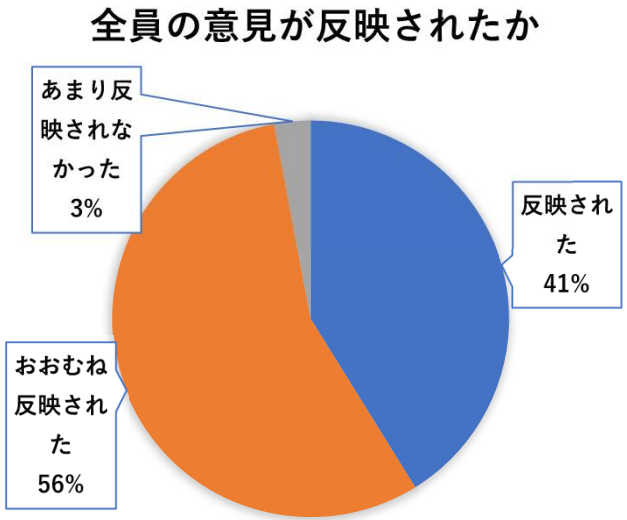


4.参加者アンケート実施結果①

■　御自分の意見について、９割以上の方が「発言できた」または「おおむね発言できた」と回答しています。
■　テーマについて、８割以上の方が「話しやすかった」または「まあまあ話しやすかった」と回答しています。
■　全員の意見について、９割以上の方が「反映された」または「おおむね反映された」と回答しています。

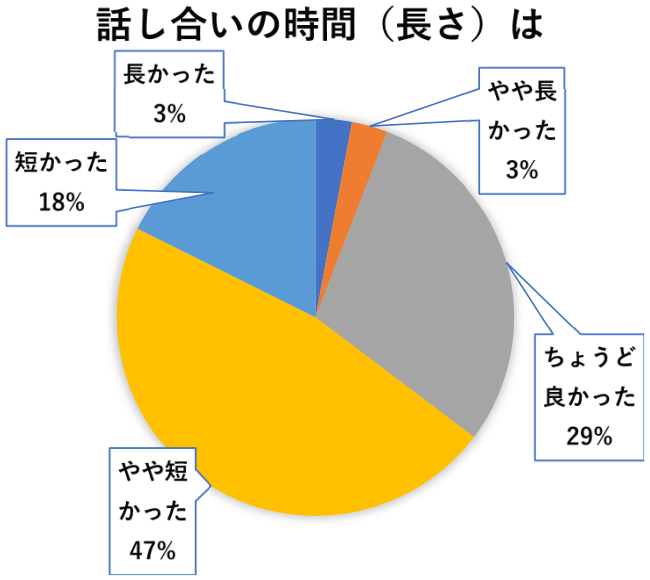


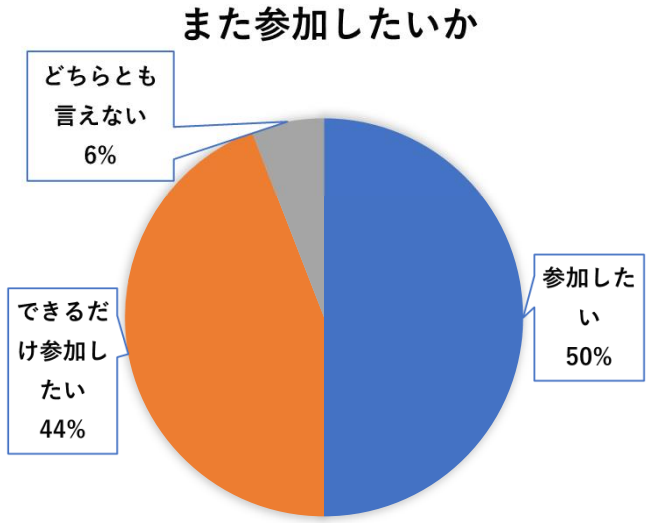




4.参加者アンケート実施結果①

■　話し合いの時間について、約３割の方が「ちょうど良かった」、約６割の方が「短かった」または「やや短かった」と回答しています。
■　今後、今回のワークショップのような市民参加の機会について、９割以上の方が「参加したい」または「できるだけ参加したい」と回答しています。





4.参加者アンケート実施結果②

あなたの“№1ウェルビーイング”は何ですか？

・笑顔

・地域の人とつながり、人のやさしさを感じられる日々を過ごせること。

・趣味の時間を満喫する

・みんなで笑顔

・ ○○さんが居て良かった、ありがとうと言われたとき

・十人十色の幸せ

・健康な毎日、好きなコーヒー、そして交流

・活発な交流の場がある街

・大切な人と過ごしているとき

・自分らしく生きる

・いつも笑顔でいたい

・厚木市に住む方、働く方が笑顔で過ごせる市

・笑顔でいられること

4.参加者アンケート実施結果②

・入浴
・楽しくみんなでおしゃべり
・交流の場
・人、モノ、コトをシェアするために集える場所を！おねがい致します
・楽しみがたくさんあるまち
・子どもの成長
・子育てしやすいにぎやかなまち
・自分の気持ちを伝えることができたこと
・心が通い合う仲間や家族と楽しい時間をすごす
・くらしやすい厚木。安心・安全。（年令は関係ない）「ほっ」とする私がいるあつぎ
・カラオケを歌っている時
・みんなが暮らしやすい思いやりと笑顔あふれる毎日
・ごはんをどこで食べようか考えているとき
・心おきなく一人で家ですごす
・愛着のもてる町に住むこと（イベントによせた内容にしてしまいました）
・家族で美味しいごはんを食べて色々話して笑ってあー今日も幸せだったと寝るとき
・何気ない毎日
・健康

4.参加者アンケート実施結果③

気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

・言葉や表現は違えど、各班の意見に共通することが多かった。他の人と話し合うことはとてもたのしかった。大好きな厚木がより良く、発展する街になってほしい。

・市のことについて知らないことが多かったので知る機会があってためになりました。

・テーマが広すぎて、初めて会う人とタイトな時間で幅広い中からテーマを見い出し発表するのは、とっても難しいことだと参加をして思いました。100人プロジェクトの開催が１回で終わるのは残念なばかりです。開催して、満足であってほしくないと思いました。着座で名札の長さも、机でかくれてしまい、もったいなく思いました。

・今回のワークショップで話されたことが市政に反映されるか期待１割、無理だろうなとあきらめ９割です。明石市、流山市、海老名市をこえてほしいです。

・良い厚木市に向け、前向きな意見が出ていた。色々な立場の方々の意見が聞けて良かった。

・世代も立場もちがう人たちと交流ができて、大変有意義だった。ネットではなく、生でお話できることの大切さを感じる。ぜひ、また参加したい。ありがとうございます。

・自分の意見が言えて、他の意見も聞くことができ大変良かったです。

・終了時刻は守ってほしい。参加者にワークショップのフィードバックがほしい。企画政策課、市長がこれから何をしてくれるのか気になる。（この意見からこの策が生まれましたのような）

4.参加者アンケート実施結果③

・みなさんよく厚木を理解していると思いました。

・紙におこすのが３回なのがちょっと大変でした。ありがとうございました。

・発表資料をまとめる時間が足りませんでした。年代の違う方と話せたのがとても楽しかったです。

・色々な世代で交流ができて、とても良かったです。

・色々な年代・立場の初対面の方と話し合うのは新鮮で楽しかったです。他の方の意見も大変参考になりました。

・今回の企画のような集まりはとても良い。今後もしてほしい。また参加したいです。

・時間に追われ忙しかったです。

・発表時間、私がまとめられず短くなってしまい、話し合いで出たすべてをお伝えすることができなかった。長くなりそうな時延長もしてほしい。

１．保育園（特に０～２）入りやすく

２．保育士、もしくは保育経験者拡充

３．幼稚園に通う時、保育時間延長（9:00～14:00は短い、働くなら16:00くらいまで延長してほしい）。預かり保育とは別。預かり保育は予約先着順あるのでムリ

４．一時保育の拡大拡充（先着順なので預けられない）。働くなら保育園幼稚園で夕方まで預けたい。一時保育は働くためでなくリフレッシュしたい人に使わせてあげたい。使えない人が多い。

子育てしやすいまちづくり、厚木市さんよろしくお願いします。

4.参加者アンケート実施結果③

・年代が幅広いので、情報格差があります。話すスピード、カタカナ語にも工夫していただいた方がいいと思いました。

・自分がなにも知らないんだなと感じた。

・このワークショップで「女性市民の声を聞いた」という既成事実をつくるだけでなく、市政が動くほうが実現性が上がるので、とにかく市議と市役所管理職の中の男女比50:50を目指して下さい！

・参加の案内にもう少し内容を詳しく書いておいてほしかった。

・活発なディスカッションが出来、有意義な時間でした。

・意外と思っている事が同じで共感してる場面がありました。また、機会があれば参加したいです。

・同じ意見を持っている人がいること、新たな事に気づけた事、ありがとう

・人と交流することは、改めて大切だと思いました！

・人によって町に求めるものが違い、厚木らしさ、町づくりとは一言では表現できないなーと思いました。サービスを積み重ねか、ふっきってブランド化するか、今後の再開発を見届けます。

・女性ならではの意見でした。これと反対に、「あつぎ男性100人プロジェクト」を開催して男性の意見を聞いてみるのも楽しいかと思います。

・楽しかったです。ありがとうございました。

5. 当日の様子

御参加ありがとうございました。